

府立高校改革に向けて 検討を進めています

京都府教育委員会では、昨年12月に「府立高校改革推進計画(案)」を公表しました。公表後、府民の皆様への説明会を開催するとともにご意見を募集しましたところ、たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。現在、ご意見を集計中ですが、今後これらのご意見を参考にするとともに、さらに市町村教育委員会や学校関係者との協議や意見交換を行いながら、「府立高校改革推進計画」の確定に向けて検討を進めることとしています。

<府立高校改革推進計画(案)説明会 多くの方々の参加をいただきました>

府立高校改革推進計画(案)についての説明会を、昨年12月から本年1月にかけて、府内の4会場で延べ5回開催しました。各会場とも多数の参加をいただき、その数は合計約1,500名となりました。

【会場でのご意見の一部(要旨)】

- ・多様で柔軟な教育システムの構築を急いでほしい。
- ・中学3年時点で、進路を決めきれない生徒が多い。高校教育を多様化することよりも、普通科の充実が重要。
- ・中高一貫教育やフレックス・ハイスクールについてもっと具体的に説明してほしい。
- ・通学区域を広げ、多くの高校から選択できるようにすべきだ。
- ・入試制度をわかりやすいものに改善してほしい。



<パブリックコメントによる意見提出 貴重なご意見を多数いただきました>

パブリックコメントでの郵便や電子メール、さらに説明会でのご意見などを合わせ、合計413件のご意見をいただきました。

【お寄せいただいたご意見の一部(要旨)】

- ・ひとつの高校で様々な子どもたちへのサービスに対応するのは限界がある。各高校が特色や個性を出し、それを子どもが選択できる機会を設け、より幅広いサービスや教育を可能とすべきである。
- ・高校が元気になるれば、小・中学校も元気になり地域も活性化する。今回の取組に期待する。
- ・希望する高校を選択できることはよいことであるが、北部等地理的な条件を十分踏まえた改善が必要である。
- ・通学区域の拡大は、学校間格差の拡大、競争の激化を生じさせる。

お寄せいただいたご意見は、府政情報センター等で閲覧できるようにします。同時に「意見の要旨と府の考え方」をお示しします。なお、「意見の要旨と府の考え方」については、京都府教育委員会のホームページ(<http://www.kyoto-be.ne.jp/>)にも掲載します。
<閲覧や、ホームページへの掲載等は、平成15年3月上旬の予定です。>
詳しくは、京都府教育庁指導部高校改革推進室(電話075-414-5853)までお問い合わせください。

「府立高校改革推進計画(案)」ではこんな高校づくりを目指しています

希望する高校を選べるシステムづくり

通学区域の
拡大

新しい入学者
選抜方法の
導入

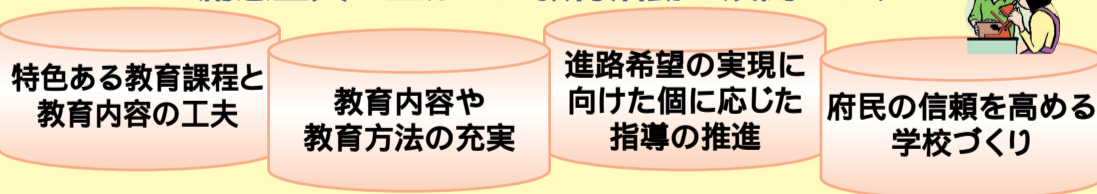
受験機会の複数化と
多面的な評価尺度の
導入



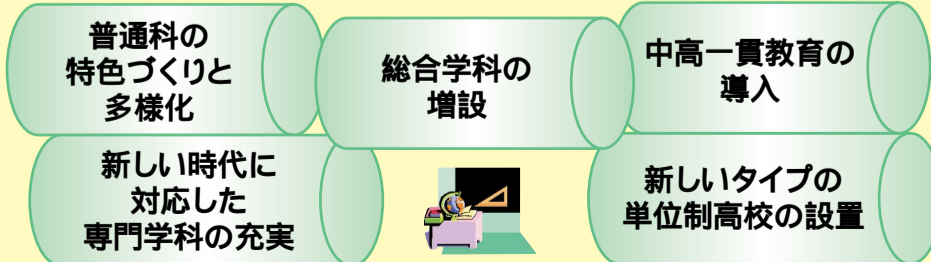
主体的な選択ができる入学者選抜制度へと改善を進めます

中学生から選ばれる高校づくり

創意工夫を生かした教育活動を展開します



新しい多様で柔軟な教育システムを構築します



府教育委員会では、「活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の適正化・適正配置」についても検討を進めており、改めて(案)を公表する予定です。